

ORICON

2013年3月期決算説明会

2013年5月9日

2013年3月期決算の概要

- スマートフォン向け音楽配信の売上が着実に拡大（前年同期比2.5倍 195百万円増）
- フィーチャーフォン向け着うたフル・着うたの売上が縮小（前年同期比36.6%減 968百万円減）
- 顧客満足度(CS)ランキング連動型広告は堅調に推移（前年同期比4.5%増 21百万円増）
- スマートフォン向けサイトの広告販売は伸びたが、タイアップ型広告の売上が減少
（コミュニケーション事業の広告販売合計：前年同期比1.3%減 13百万円減）

フィーチャーフォン向けサービスの減収額の
影響が大きく

2013年3月期連結業績

売上高	:	5,577百万円	（前年同期比 13.0%減	831百万円減）
営業利益	:	713百万円	（前年同期比 24.7%減	234百万円減）
経常利益	:	649百万円	（前年同期比 25.4%減	221百万円減）
当期純利益	:	267百万円	（前年同期比 42.7%減	199百万円減）

※当期純利益については、貸倒損失74百万円、投資有価証券評価損30百万円などを特別損失として計上したため、経常利益の減少率より大きくなりました。

連結損益計算書



(単位:百万円)	2012年3月期	2013年3月期	増減	
			金額	増減率
売上高	6,408 (100%)	5,577 (100%)	▲831	▲13.0%
売上原価	3,748 (58.5%)	3,231 (57.9%)	▲517	▲13.8%
差引売上総利益	2,660 (41.5%)	2,346 (42.1%)	▲313	▲11.8%
販管費	1,712 (26.7%)	1,632 (29.3%)	▲79	▲4.6%
営業利益	947 (14.8%)	713 (12.8%)	▲234	▲24.7%
経常利益	871 (13.6%)	649 (11.6%)	▲221	▲25.4%
税金等調整前 四半期純利益	826 (12.9%)	520 (9.3%)	▲306	▲37.0%
四半期純利益	466 (7.3%)	267 (4.8%)	▲199	▲42.7%

主な減収要因

- ・着うたフル [823百万円減(36.0%減)]
- ・着うた [145百万円減(40.5%減)]
- ・雑誌事業 [152百万円減(10.8%減)]
- ・コンテンツ販売 [94百万円減(86.8%減)]
⇒法人向け販売を2012年8月に事業撤退

主な増収要因

- ・スマートフォン向け音楽配信
[195百万円増(2.5倍)]
- ・顧客満足度ランキング連動型広告
[21百万円増(4.5%増)]
- ・ソーシャルゲーム事業(その他事業)
[192百万円増]

モバイル事業の売上減少に伴い、音源使用料が359百万円減少。

特別損失として、貸倒損失74百万円、投資有価証券評価損30百万円を計上。

2012年7月1日付で、当社の完全子会社であるオリコンDD株式会社(存続会社)とオリコン・コミュニケーションズ株式会社(消滅会社)が合併

従来、「データサービス事業」に属していたオリコン・コミュニケーションズ株式会社の「マーケティングソリューションの提供」「ランキング情報等の販売」を、オリコンDD株式会社の展開する「WEB事業」に編入

編入後の報告セグメントの名称を、「WEB事業」から「コミュニケーション事業」に変更

以上の変更を今期の第1四半期より適用

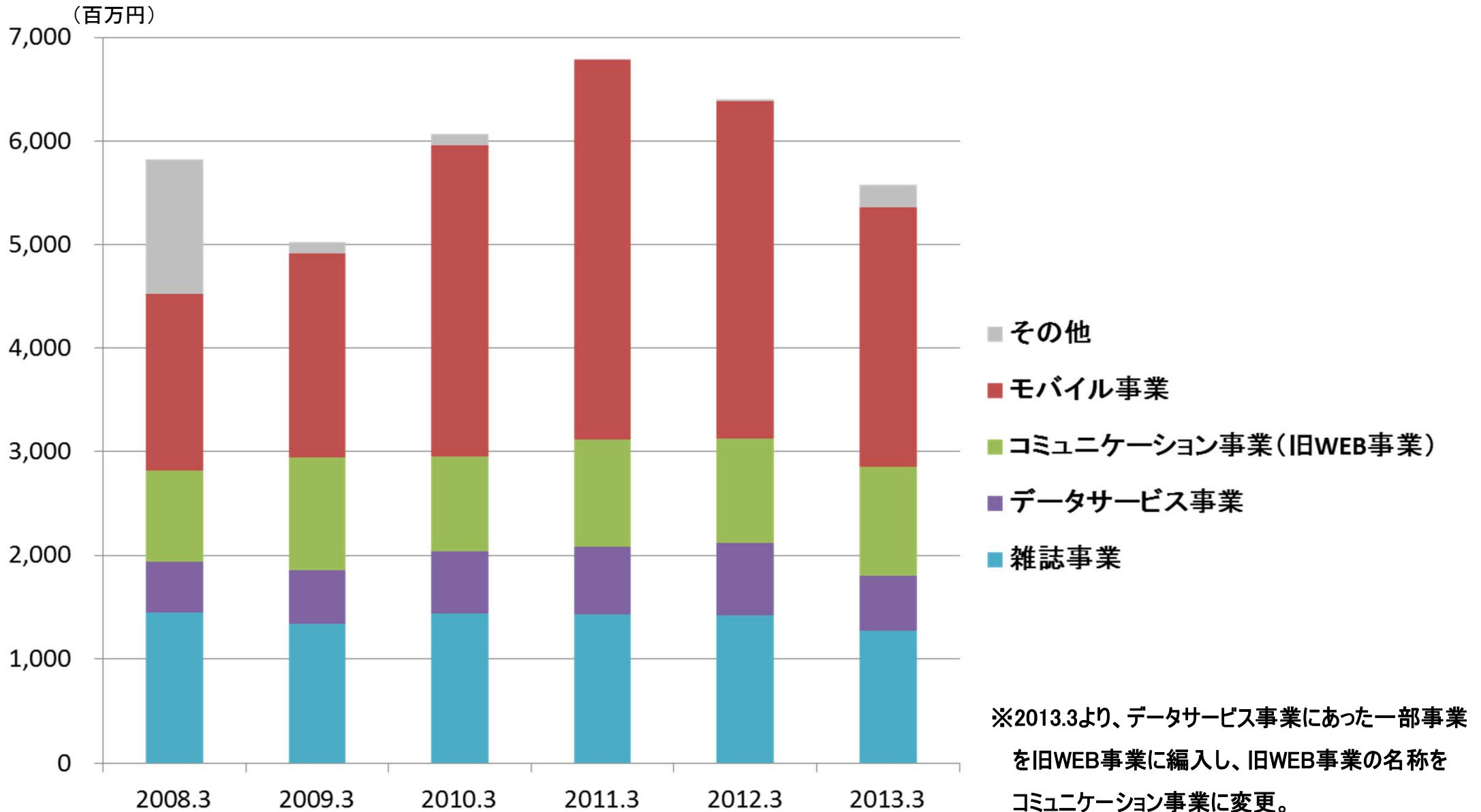
※本資料における前年同期との比較は、前年同期の数値を新たな報告セグメント区分に組み替えて算出された数値との比較により行っております。

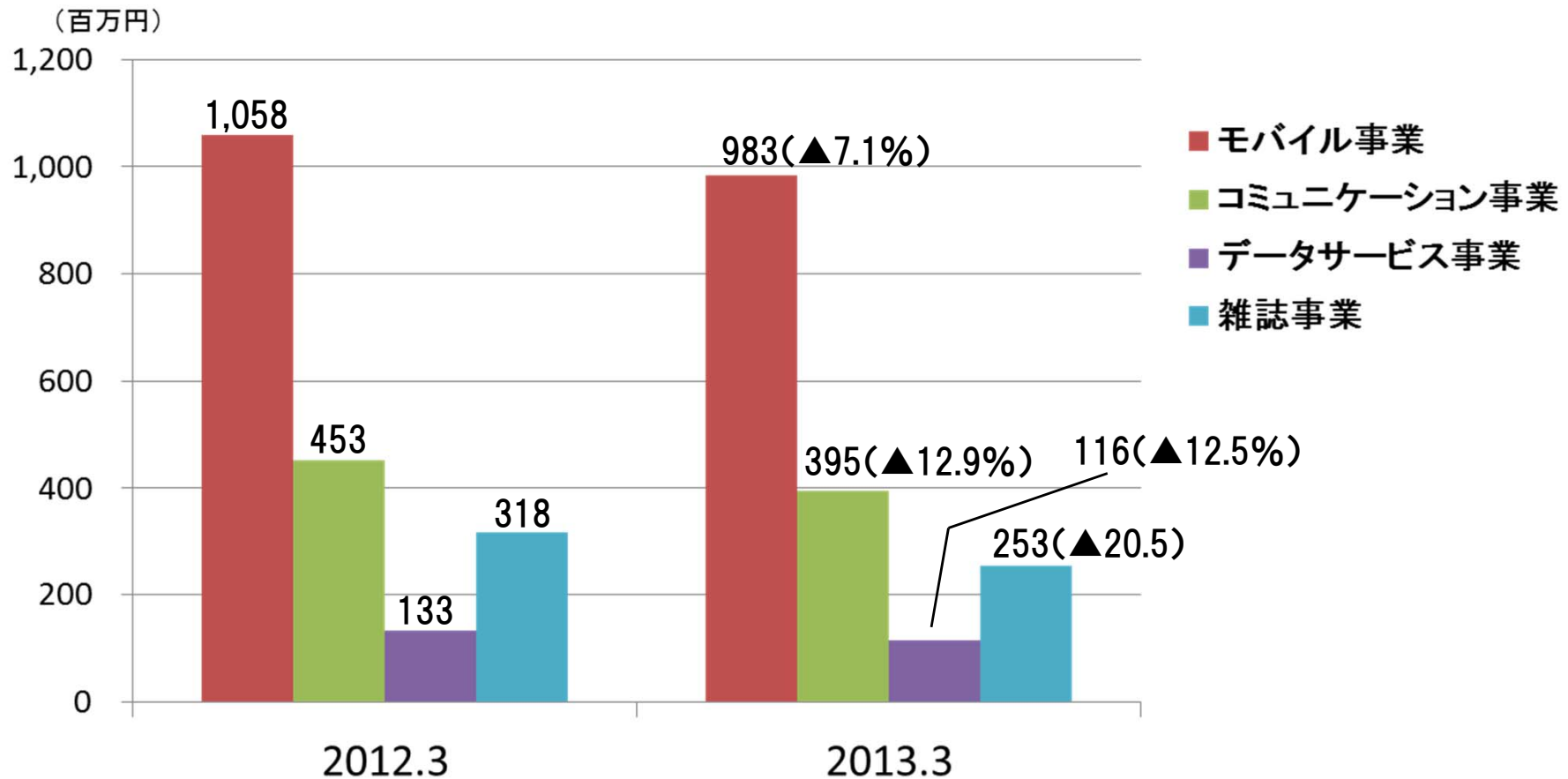
報告セグメント別売上高



	2012年3月期	2013年3月期	増減	
			金額	増減率
(単位: 百万円、百万円未満を切捨て)				
コミュニケーション事業	1,171	1,052	▲118	▲10.1%
広告販売	985	972	▲13	▲1.3%
CSランキング連動型広告	474	496	21	4.5%
バナー型広告・タイアップ型広告等	511	476	▲34	▲6.8%
データ販売・コンテンツ販売等	185	80	▲104	▲56.6%
モバイル事業	3,259	2,508	▲751	▲23.0%
フィーチャーフォン向け音楽配信	2,996	2,078	▲918	▲30.6%
着メロ	348	399	50	14.6%
着うた	358	213	▲145	▲40.5%
着うたフル	2,289	1,465	▲823	▲36.0%
スマートフォン向け音楽配信	131	326	195	148.7%
情報系等	132	103	▲28	▲22.0%
雑誌事業	1,417	1,264	▲152	▲10.8%
データサービス事業	541	538	▲3	▲0.6%
その他(ソーシャルゲーム事業等)	19	213	192	1006.6%
売上高合計	6,408	5,577	▲831	▲13.0%

売上構成の推移





モバイル事業は、売上高の減少率が23.0%であるのに比して、セグメント利益の減少率は7.1%にとどまった。その主な要因は、スマートフォン向け音楽配信サービスが利益貢献を始めたこと、利益率の高い着メロの売上高が14.6%増となったこと、着うた・着うたフルの音源使用料が減少したこと等であります。

通期業績予想数値に対する進捗



(単位:百万円)	期初予想値[A] (12年5月9日)		業績予想修正[B] (12年11月8日)		実績値[C] (13年5月9日)	進捗率[C/A]	進捗率[C/B]
売上高	6,440		5,900		5,577	86.6%	94.5%
営業利益	1,020		820		713	69.9%	87.0%
経常利益	930		750		649	69.8%	86.5%
当期純利益	550		400		267	48.5%	66.8%

中間期での業績予想修正の主な理由

- ・顧客満足度(CS)ランキング連動型広告の契約単価アップの時期が、2012年12月以降に繰り下がったこと。
- ・スマートフォン向け音楽配信サービスの楽曲単価が、一部のレコードレーベルにおいて下期より引き下げられたこと。
- ・ソーシャルゲーム事業において、下期に投入するゲームの絞り込みを行うようにしたこと。

通期実績値が中間期での業績予想数値を下回った主な理由

- ・スマートフォン向け音楽配信の売上が想定を下回ったこと。
- ・ソーシャルゲーム「ラストブレイブ」の提供開始が2013年3月下旬まで繰り下がったこと。
- ・PC向けサイトの年度末の広告入稿件数が想定を下回ったこと。
- ・特別損失として、貸倒損失74百万円を計上することになったこと。

連結貸借対照表



(単位:百万円)		2012年3月期末	2013年3月期末	増減
資産合計		4,552	4,454	▲97
	流動資産	2,623	2,263	▲359
	有形固定資産	139	536	397
	無形固定資産	1,042	1,152	109
	投資その他の資産	742	495	▲246
	繰延資産	4	6	1
負債合計		2,622	2,429	▲192
	流動負債	1,823	1,869	46
	固定負債	799	560	▲239
純資産合計		1,929	2,025	95
	株主資本	1,929	2,009	79
	その他の包括利益累計額	▲19	0	19
	新株予約権	18	14	▲3

- 総資産は97百万円減少。主な要因は、売掛金、投資有価証券等の減少。一方、CSR活動の一環として太陽光発電事業を開始したことに伴って機械及び設備が390百万円増加。
- 負債合計は192百万円減少。有利子負債が74百万円減少したことが主な変動要因。
- 純資産は95百万円増加。配当金119百万円の支払、自己株式68百万円の取得があったものの、当期純利益267百万円を計上。自己資本比率は45.1%となり、前期末比3.1ポイント上昇。

(単位:百万円)	2012年3月期	2013年3月期	前年同期比 増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,110	918	▲192
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲48	▲645	▲596
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲897	▲265	631
現金及び現金同等物の増減額	165	7	▲158
現金及び現金同等物の期首残高	737	903	165
現金及び現金同等物の期末残高	903	910	7

■営業活動によるキャッシュ・フロー

2013年3月期において、主な収支は、税金等調整前当期純利益520百万円の計上、売上債権の減少額326百万円、減価償却費210百万円の計上、法人税等の支払212百万円等であります。

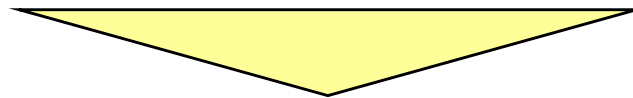
■投資活動によるキャッシュ・フロー

2013年3月期において、主な収支は、CSR活動の一環として行う太陽光発電事業に関わる施設を含む有形固定資産の取得による支出435百万円、無形固定資産の取得による支出210百万円、株式会社セガよりセガカラMelody事業（音楽配信事業）を譲受したことによる支出183百万円、投資有価証券の売却による収入111百万円等であります。

■財務活動によるキャッシュ・フロー

2013年3月期において、借入金の返済、配当の実施、自己株式の取得によって、資金が減少。

- 次期に開始予定であるスマートフォン向けハイブリッド型(ダウンロード&ストリーミング)音楽配信サービス「オリコンミュージックファン」については、新しい音楽需要を創造するビジネスモデルであるため、現時点で、今後の収益を合理的に算出するには至っておりません。
- 次期の連結業績については、新たに加わる「オリコンミュージックファン」の収益が大きく影響する見通しです。



「オリコンミュージックファン」の今後の収益を合理的に算出できていない現時点においては、次期の連結業績予想数値を合理的に算定することが困難。



今後、次期の連結業績予想数値を合理的に算定することが可能になった時点で、当該予想数値を公表する予定です。

配 当

2013年3月期: 今後の資金需要と内部留保等を総合的に判断し、期末配当として1株につき800円の配当を実施。〈配当性向:44.1%〉

2014年3月期: 現時点で2014年3月期の業績予想数値を合理的に算定できていないため、配当予想額についても現時点で未確定であります。

⇒業績予想を合理的に算定できるようになった時点で、当該予想数値を公表するとともに、配当予想額についてもお知らせする予定です。


自己株式の取得

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能にするため、2013年3月期において、自己株式2,400株(発行済株式総数に対する割合:1.5%)を取得。

※2013年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っておりますが、上記の配当額および取得した自己株式数は、当該株式分割が行われる前の数値となっております。

2013年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行ったことに伴い、株主優待制度の
謹呈基準を下記のとおりに変更いたします。

3月末と9月末の株主名簿に記載の株主様に対しまして、
保有されている株式数に応じて、当社オリジナル図書カード(500円券)を謹呈

変更前			変更後	
1株～5株	1枚		100株～500株	1枚
6株～19株	2枚		600株～1,900株	2枚
20株～59株	4枚		2,000株～5,900株	4枚
60株以上	6枚		6,000株以上	6枚

※2013年3月末の株主名簿に記載の株主様には、2013年6月下旬に発送いたします。
今回のオリジナル図書カードのアーティストは、6月に解散する「ファンキーモンキーベイビーズ」。
次回のアーティストは未定です。

CSR活動の一環として行う太陽光発電事業について

当社グループでは、企業として自ら発電し、エネルギー問題に関与していくことは、CSR活動として非常に価値が高いと捉えました。

2012年7月1日、「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」が導入され、買取価格(1kWh当たり税抜き40円)が20年間継続され、長期間にわたって安定的な売電収入が得られますので、投資として捉えた場合において、一定の利回りを確保できるようになりました。

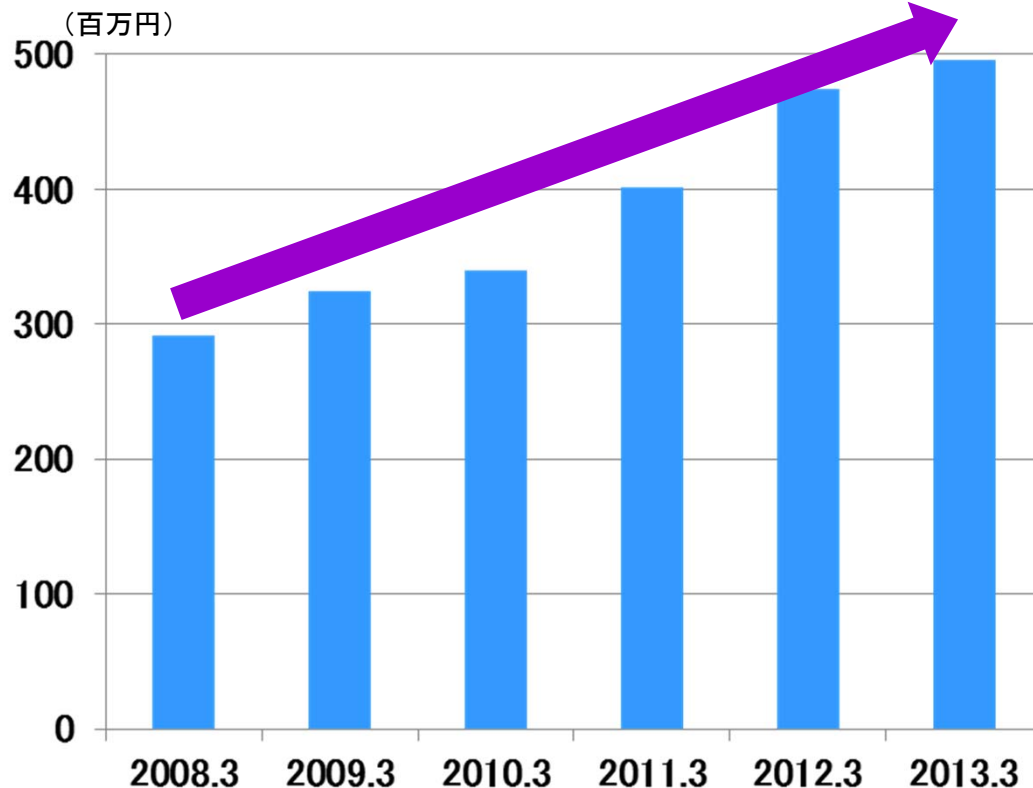
用地確保、ソーラーパネルの設置、電力会社などへの申請業務、保守メンテナンスなどの一連の業務がパッケージ化されている投資案件をリサーチし、(株)ウエストエネルギーソリューションの案件が最も相応しいと判断。当案件へ投資することにより、CSR活動の一環として太陽光発電事業を開始することを決定(2013年1月11日)。

長崎県大村市の34,027平方メートルの敷地(賃借期間:20年)に、太陽光パネル等の設置を完了。現在、電力会社(九州電力)への連系工事を行っており、2013年9月までに売電を開始する予定。発電出力は、約1.1メガワット。想定される年間の売電収入は、44百万円~48百万円(税抜)になる見込み。



伸張事業の状況について

CSランキング連動型広告の売上高の推移



- 安定的に収益を拡大。
- 2014年3月期においても新規ジャンルを複数立ち上げる予定。
⇒新規のジャンル数および立ち上げの時期は現時点で未確定
- データ購入の需要が拡大。経年比較、同業他社との比較などのニーズが高い。データ販売にも注力。
⇒調査設計およびデータ解析を高度化

- 「来店型保険ショップ」(2012年11月～)、「ネットスーパー」(2013年3月～)、「食材宅配サービス」(2013年3月～)を新規ジャンルとして立ち上げた。一方、「レーシック」、「矯正歯科」、「審美歯科」などのジャンルを休止。
- 2012年12月のランキング更新時より、契約単価をアップ。

「オリコンミュージックストア」



- 2010年9月に開始した1曲ごとの音楽ダウンロードサービス（一部のタイトルでアルバムのダウンロードも可能）
- 着実に収益を伸ばしており、2013年3月期の売上は、前年同期の2.5倍に増加。専用アプリのダウンロード数は、すでに100万件超。
- 2013年3月、ブラウザー上で楽曲のダウンロードと課金決裁を行うことのできる仕様に変更
⇒ユーザーによるGoogle Playでの専用アプリのダウンロードが不要になり、楽曲の試聴・購入をシームレスに行うことができるようになりました。

今後も、機能の拡充に注力。楽曲ラインナップも継続的に充実させてまいります。

「オリコンミュージックファン」

- アルバムを中心にダウンロードとストリーミングの両方を行えるハイブリッド型サービス
- スマートフォン(Android端末 & iPhone)、タブレット端末、PCのいずれでも利用できるマルチデバイス対応サービス
- 一般社団法人日本レコード協会が需要拡大キャンペーンとして2010年より継続的に行っている「大人の音楽～Age Free Music～」に当社グループとして賛同。「オリコンミュージックファン」のメインコンセプトを「Age Free Music」とし、大人の層に“刺さる”楽曲とアーティストを幅広くラインナップ
- これまでスマートフォンで音楽を聴いたことのない大人の層を取り込んで需要を喚起。潜在している「スマートフォンで音楽を楽しむ顧客」を顕在化させ音楽市場の活性化と拡大に貢献



“オール・オリコン”のプロジェクトとして、CEOがリーダーとなり、グループの総力をあげて推進

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

- ※ Google Play、Androidは、Google Inc. の商標または登録商標です。
- ※ iPhoneは、Apple Inc.の商標または登録商標です。
- ※ 着うた、着うたフルは、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- ※ その他記載されている製品名、サービス名などは、該当する各社の商標または登録商標です。

オリコン株式会社

IR用ホームページ

<http://www.oricon.jp/>